内科専門医 秋田赤十字病院 内科専門医研修プログラム

定員 3名

プログラム責任者
秋田赤十字病院
菅沼　由美
第二代謝内科部長

専門研修担当者連絡先
人事課　西谷　悠佑
TEL.018-829-5000　FAX.018-829-5255
E-mail　kensyu@akita-med.jrc.or.jp
HP　http://www.akita-med.jrc.or.jp/pages/d-kensyuu-k

プログラムの特徴

内科専門医受験に必要な内科各分野160症例を、各科・連携施設との連携により経験します。症例の経験については、各科担当指導医が個別にコーディネートし、専門医になるために必要な症例を効率的に経験することができます。

また、研修コースは大きく以下の2つのタイプを用意しております。

1：内科標準タイプ（時間をかけて内科を全般的に）
2：サブスペシャルティ重点研修タイプ（サブスペも同時進行で）

さらに当院は救命救急センターとして各分野横断的な診療機会が多い一方で、下記のとおり内科系診療科・部門が充実しており、サブスペの経験値を充分に深められるチャンスにも恵まれています。

消化器内科（肝胆膵）、消化器内科（消化管）、代謝内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、血液内科、内科（総合診療）、救急科、緩和ケア内科、健診部、検査部

なお、サブスペシャルティ研修については、特に秋田大学との連携で専門性を高めます。

また、毎週定期的に内科系診療科の輪番で検討会も開催しており、幅広く勉強できる環境が整っています。

内科専門医を目指す皆さんへ

当院は内科各分野に限らず、ほぼ全科が揃っている三次救急指定病院のため超急性期医療から慢性期医療、Common diseaseから報告に値するrareな症例まで幅広く経験することが可能です。外科、他職種とのカンファランスや内科症例検討会も充実しており、診療科を超えたチーム医療が行われております。また、職員旅行や部活動など他科医師やコメディカルスタッフとの交流の場も豊富です。「日々の研修が楽しい」「質問しやすい」と思える職場でみなさんをお待ちしております。

施設認定・連携施設

■内科系の主な施設認定

日本内科学会認定医制度教育施設、日本透析医学会認定医制度教育関連施設、日本腎臓学会認定研修施設、日本血液学会専門医制度血液研修施設、日本糖尿病学会認定教育施設、日本神経学会専門医制度教育施設、日本呼吸器学会認定施設、日本アレルギー学会認定教育施設、日本超音波医学会認定超音波専門医制度研修指定施設、日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設、日本消化器病学会専門医制度認定施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

■連携施設

秋田大学医学部附属病院、中通総合病院、市立横手病院、能代厚生医療センター、由利組合総合病院

■取得までのキャリアパス

内科専門医取得のための登録症例経験値　160例（秋田赤十字病院、秋田大学、連携病院等）				内科サブスペシャルティ専門医取得のための経験値の例（秋田赤十字病院、秋田大学、連携病院等）			
初期研修2年間	1年目（卒後3年目）	2年目（卒後4年目）	3年目（卒後5年目）	4年目（卒後6年目）	5年目（卒後7年目）	6年目（卒後8年目）	7年目～（卒後9年目）
初期研修期間中に80例までの登録可能。（3年目以降の専門研修につなぐ貴重な症例を経験する。）	1. 内科ローテートコース（サブスペシャルティ決定次第2に移行可能）			内科サブスペシャルティ			
	2. サブスペシャルティ重点コース（サブスペに所属しながら適宜各科連携して症例経験）			内科サブスペシャルティ			

主治医経験症例登録終了（初期と合わせて160症例）

内科専門医試験受験

サブスペ専門医試験受験